

生物防除関係者で話題の論文 天敵昆虫の大量放飼に 関する世界の論文分析

アリスライフサイエンス株式会社
バイオソリューション部長 和田 哲夫

IPMとマルハナバチ考

(2面からつづく)

「評価」が難しく、評価の流れを明確にする。さらには得られたデータとともに、暴露状況を含めた総合的に「リスク管理」を行い、「リスク管理」へと繋ぐ視点が重要とされている。「リスト」がなくなることから98年度のような風評被害がなくなることを期待される。さらに基本的な考え方として、野生生物の生殖異常とホルモン作用を有する物質の暴露の関

連が指摘された点の解明、人への影響だけでなく、生態系への影響も視野に置いて、一層幅広い基礎研究や地道な野生生物の観察などの科学的知見を蓄積していく努力が必要であることが明らかになってきた。また、「リスク管理」は県の基準から削除された点、また、「リスク管理」の開発や科学物質を評価する方法などについて国際的な連携の強化も望まれている。農業業界は「作物の保護」の科学的知見を蓄積していく努力が必要であることが明らかになってきた。

生物防除に対する評価判定 放飼による害虫防除の成果というものであるが、要約として、過去約20年間に書かれた天敵昆虫の大量放飼に関する世界の140の論文を分析したものであり、結論として天敵の大量放飼による害虫防除の成果が低いと

国ごとに異なる化学農薬とIPMの概念

まずこの論文が分析したデータはトモロコシ、ワタ、ホップ、リンゴ、オレンジなどの露地作物がほとんどである。唯一の例外がイチゴであるが、これも野外である。15%の成功率というのには驚くべき数字である。欧州の研究者はむしろハウスと閉鎖環境における印象が強い。15%という数字もない成功事例と誤解し

イチゴ天敵利用層概念図

定植	10-11月	1-2月
ハダニ アブラムシ アザミウマ コナジラミ ハスモンヨトウ 灰色かび病 うどんこ病 炭そ病	スパイデックス アフィバー スピノエース、マッチなど ホリバー黄色 クオーク ポトキラーダクト処理 サルバトール3回以内 オーソサイド、アミスターなど	スパイデックス アフィバー ホリバー黄色 クオーク

備考: マイトコーネ、コロマイトなどのスポット散布も高密度時に必要

この論文が分析したデータはトモロコシ、ワタ、ホップ、リンゴ、オレンジなどの露地作物がほとんどである。唯一の例外がイチゴであるが、これも野外である。15%の成功率というのには驚くべき数字である。欧州の研究者はむしろハウスと閉鎖環境における印象が強い。15%という数字もない成功事例と誤解し、世界の生物防除関係者の間で話題になっている。論文のタイトルは「A critical evaluation of augmentative biological control」 T. Collier, van R. Steenyk, B. ological control (2004) 245-256. 放飼法は、生

た。また、「リスク管理」は県の基準から削除された点、また、「リスク管理」の開発や科学物質を評価する方法などについて国際的な連携の強化も望まれている。農業業界は「作物の保護」の科学的知見を蓄積していく努力が必要であることが明らかになってきた。

度でも使えばIPMである。アメリカもヨーロッパもIPMについては、それぞれの歴史があり、発展してきた分野が異なるため、異なったIPMの概念も出てきている。日本では日本の気候、栽培体系、使える農薬の状況、生物防除の指導員がく限られた薬剤を指導するのみで

は、実際にトマ

はもミの上を 慎重な報道を マスコミ慎重



これはNHKが取材中に現在開発中の北海道の種であるエンゾオオマルハナバチとクロマルハナバチを混同したために起こった誤りである。マスコミによる誤報は農業業界では過去何度も経験している事実である。

Arysta LifeScience Corporation

より効率的な総合防除に応える充実ラインナップ。

化学殺虫剤
信頼のブランド 総合殺虫剤 **オルトラン水和剤**
オルトラン粒剤

微生物殺虫剤
アザミウマ類、コナジラミ類防除に **ポタニガードES**
抵抗性コナジラミ防除に **クオークフロアブル**
コナジラミ類、アザミウマ類防除に **マイコタール**
野菜類のアブラムシ類防除に **バータレック**

天敵殺虫剤
野菜類のアブラムシ初期防除に **アフィバー**
野菜類、果樹類のハダニ防除に **スパイカール**
野菜類、果樹類等のハダニ防除に **スパイデックス**
野菜類のアザミウマ防除に **タイリク**

化学殺菌剤
果樹、野菜病害の総合防除に **オーソサイド水和剤80**
うどんこ病、葉かび病等の予防と防除に **サルバトールME**
芝の葉枯病、ダラスポット病防除に **ボンジョルノ乳剤**

微生物殺菌剤
野菜類の軟腐病防除に **バイオキーパー水和剤**
野菜類の灰色かび病、うどんこ病予防に **TMポトキラー水和剤**

受粉用マルハナバチ
世界品質 **ナチュポール**
国産種 **ナチュポール ブラック**

アリスライフサイエンス株式会社
日本事業部：〒104-6591 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー
<http://www.agrofrontier.com>

IPMの確かな答えが
ここにあります。